

新事業支援を本格化

栃木 職 現 行 書 類 システム導入後

申請内容の確認などは一部を民間委託する。県

ト「シヨクラ ステーシ ョン」を開く。同イベン

有子

駅の「バル小山」では2月7～14日に開催する。

宇都

「ラス」などの商品を購入できる。

「食と農」協議会

滝沢ハムなど6社選定

新事業支援を本格化

「食と農」プロジェクトでの支援先

遠藤食品(佐野市、漬物) ショウガの有効利用策
大妻工房ロア(足利市、菓子) 県産大麦を使った食品の研究
カクヤス商販(矢板市、農園芸資材) ジネンジョの地上栽培やジャンボむかごの研究
抗菌研究所(那須塩原市、抗菌剤) 生分解性樹脂の分解速度調整
滝沢ハム(栃木市、食肉加工品) 生ハム製法や国産牛肉熟成の技術研究
北研(壬生町、キノコ種菌) 循環型キノコ栽培システムの研究

足利銀行と栃木県、野村証券でつくる「食と農」企業支援プロジェクト推進協議会(会長・藤沢親足銀頭取)は商品開発や販路開拓などの取り組みを計画段階から一貫して支援する企業として、滝沢ハムなど県内6社を選んだ。共同研究契約を結んでいる宇都宮大学とも連携。2月から新事業の

支援を本格化させる。足銀の取引先でつくる栃木県産業協議会の26日の会合で講演した藤沢親取が地域振興の取り組みを説明するなかで明らかにした。講演では県外から「行内に特命担当を置き、

県などと連携しながら東京を中心に今までざっと200社に当たった。少しずつ手応えも感じている」と語った。

足銀、県、野村の「食と農」協議会が支援先に選んだのは食肉加工品の滝沢ハム以外に、漬物の遠藤食品(佐野市)、菓子の大妻工房ロア(足利市)、農園芸資材のカクヤス商販(矢板市)、抗菌剤の抗菌研究所(那須塩原市)、キノコ種菌の北研(壬生町)。

協議会は県が推進する「フードバレーとちぎ」構想に歩調を合わせる形で昨年10月に発足。メンバーそれぞれが持つネットワークやノウハウを生かし、地元ならではの食料や農業技術を生かした新事業を模索する企業の支援に乗り出した。

支援先を募集したところ20社程度から問い合わせがあった。個別企業訪問などを通じて選定作業を進め、25日の審査会で6社を内定したという。協議会は2月16日に農業ビジネスや海外での販路開拓をテーマにした初のセミナーも開く予定だ。

景気判断

7期ぶりに下方修正

宇都宮 財務事務所 10～12月「足踏み」

関東財務局宇都宮財務事務所は26日発表した栃木県内の2010年10～

12月期の経済情勢で、景気の総括判断を「雇用情勢などに厳しい状況が残

指摘した。リーマン・ショック直後の09年1～3月期以来、7四半期ぶりの下方修正。エコカー補助金終了や家電エコポイント制度縮小の影響もあり、企業の生産活動や景況感に弱い動きがみられる」と話す。

経済活動の状況を7段階で示す天気図は真ん中の「くもり」で据え置いた。新宮増弥所長は「政策効果切れや為替変動リスクの影響はあるが、海外景気の改善などを背景に前向きな声も一部聞かれる」と話す。

年末年始から記録的な大雪に見舞われ、各地で

宇都宮 10～12月「足踏み」

なつて小型EVの開発に向けた産学官研究会を

企業の生産活動では情